

平成29年2月3日

甲斐市議会議員 小浦 宗光 様

甲斐市議会・新政クラブ

会長 赤澤 厚



視察研修報告書

- 1 日程 平成28年11月16日(火)～17日(水)
- 2 場所 宮城県仙台市青葉区花京院1-2-3
TKP 仙台カンファレンスセンター
- 3 研修名 「地方分権時代における議会改革」
- 4 参加者 小浦宗光、赤澤厚、池神哲子
- 5 内容
 - (1) 正しい議会改革とは
～何のための議会改革か
一般財団法人地域開発研究所 牧瀬稔
講義内容
 - ①議会の役割⇒執行機関の監視機能、政策を立案する機能
 - ②議会改革とは何か
 - ③議員定数をどう考えるか。
 - ④ユニークな条例の紹介
 - ⑤議員提案条例の効果を高める規定 等

(2) 人口減少時代の地方議会

～人口減少に対応する視点

一般財団法人地域開発研究所 牧瀬稔

講義内容

- ① 拡大都市か縮小都市か
- ② 人口減少の再認識
- ③ 人口減少に対応する視点
- ④ 農山漁村にチャンスがきているかも
- ⑤ 自治体議会の役割の再確認
- ⑥ おわりに：地方版総合戦略の視点

6 研修を終えて

今回の研修では、執行機関の監視機能を高めることや政策立案機能を高めることにより住民の福祉の増進を実現していくといった議会の役割を再認識することができた。

特に議会改革においては、この視点が一番重要であり、議会改革を行う際に、住民の福祉の増進につながらないような改革は本末転倒となってしまうことを意識しなければならない。

また、現在の全国的な人口減少社会を迎えるなか、住民の福祉の増進にむけ、「住民の創造」という考え方が大切である。そのためには、あれもこれもといった総花的な政策ではなく、ターゲットを絞った各地方自治体にあった効果的な政策を考えていく必要がある。

今後の議会の役割は、ますます重要になり、的確な質問を用いた執行機関への監視機能の強化と人口減少に対応した議員提案による政策条例が必要となってくるであろう。

今後も持続可能な「緑と活力あふれる生活快適都市」甲斐市の実現にむけ、適切な議会活動及び議会運営について考えていきたい。

